

内科通信 No.2



ひとくちに風邪といっても・・・

冬の外来では熱や咳の患者様も多いようです。今回は風邪のお話です。

風邪とは、呼吸器系の炎症性の病気で、単一の疾患ではなく、熱がでて寒気がし、咳が出るものの総称です。

原因は大きく分けて2種類あり、ウイルスによるものと細菌によるものがあります。実は風邪の多くはウイルスによるもので、インフルエンザウイルスによるもの以外、原因治療となる特効薬はありません。抗生物質も無効で、熱や咳等の症状をやわらげる薬を使用して、自然に良くなるのを待つこととなります。一方、細菌によるものには抗生物質が効果的で、それを使わないと治癒が遅れることがあります。これらの理由により、一見同じような症状でも患者様によって処方内容が異なるのです。

ただし、ウイルスによるものか細菌によるものかの区別がつきにくい風邪もありますので、2～3日たっても処方されたお薬で症状が良くならないときは、なるべく早いうちにもう一度受診してくださいね。

お大事にね。

